

AINO NEWS  
新校舎M・L・C建設中  
収容定員増加について etc

寮生のくらし

産学連携活動

研究紹介

地域貢献活動

MY SCHOOL DAYS  
~私が18歳だった頃~

and more...

# ainote

ア イ ノ テ

藍野大学  
サークル特集



2020年度新設!

藍野高等学校

メディカル  
サイエンスコース

藍野大学

## 新校舎 Medical・Learning・Commons 建設中



大学のファサードに建設中の新校舎(2019年6月撮影)



建設中の新校舎 内部の様子(2019年6月撮影)



完成イメージ(鉄骨4階建て 延床面積 約3,100m<sup>2</sup>)

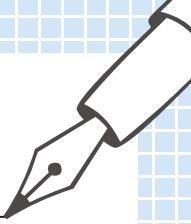
学校法人藍野大学の創基50周年記念事業として、大学のファサードに建設中の新校舎。今年12月竣工予定で工事を進めています。4階建ての建物は東西全面がガラス張り。中央吹き抜け部は開閉式のトップライト(天窓)により自然換気システムを導入し、自然採光を確保するとともに、排熱と空気循環を促す、環境に配慮した快適な空間になります。キャンパスライフを充実させる設備と、アクティブ・ラーニングを実現する様々な教育設備や機能を備えた新校舎は、茨木市の福祉避難所及び災害時一時避難場所としても活用を想定。周辺住民の方々の非常時における受入施設としての機能も併せて備えています。

### 主な設備

- ・24時間警備導入
- ・全館wi-fi完備
- ・スマートフォン予約ができる自習室
- ・ATM設置(りそな銀行)
- ・大手コーヒーチェーン入店
- etc...

他にもキャンパスライフ充実化に向けた様々な特徴が。

内観イメージ



## 藍野大学

# 2020年度の4月入学生より対象 収容定員(入学定員)増加の認可

藍野大学は、看護学科と理学療法学科において、より多くの方に学んでいただけるよう収容定員増加に係る学則変更認可申請を行い、7月2日付けで文部科学大臣より認可を受けました。2020年度の看護学科と理学療法学科の入学定員は右記のとおり変更となります。

なお、別途、収容定員増に必要な手続きである、文部科学大臣が指定する看護師学校等の入学定員に係る変更承認につきましては、5月16日付けで申請しています。

### 看護学科の定員増

**90名 ▶ 115名**

### 理学療法学科の定員増

**80名 ▶ 100名**

## 滋賀医療技術専門学校

# 2020年4月開学予定「びわこリハビリテーション専門職大学」設置認可申請中

※設置認可申請中のため、掲載内容は予定であり、変更になる場合があります。



大規模改修中。2019年12月完成予定。



完成イメージ

「超高齢化社会」に突入している日本では慢性疾患が多くなり、医療は「病院完結型」から「地域完結型」へと転換が進んでいます。「地域全体で治し、支える。」このシステムの中でリハビリテーション専門職は多様化・高度化する住民ニーズに対応し、様々な場面で支援することが求められます。このような社会的要請に応えるため、2020年4月、滋賀県初の理学療法士・作業療法士養成大学誕生に向け、「びわこリハビリテーション専門職大学」の設置を文部科学省に認可申請中です。

## 藍野大学

# 茨木市と共に「下肢筋力と食事改善から取り組むアンチエイジング」を開講

藍野大学理学療法学科では、茨木市(文化振興課・保健医療課・長寿介護課)と共に茨木市立生涯学習センターにて、健康増進のための講座「下肢筋力と食事改善から取り組むアンチエイジング」(全3回の連続講座・無料)を開講しています。6月8日(土)はその第1回目で、受講者の筋肉量や下肢筋力、血管年齢、骨密度などの身体機能を測定。教員による測定結果の解説と、同学科の学生による運動指導を実施しました。次回は理学療法学科教員による運動指導と、看護学科教員によるお味噌汁の塩分チェックや食事改善アドバイスを行い、最終回では再び身体機能を測定します。約3ヶ月間の受講や取り組みによって、健康的なカラダづくりへの意識が高まるこことを期待しています。

[担当教員] 理学療法学科:熊田仁准教授、前田智香子准教授、看護学科:本多容子教授 ほか  
※2019年11月～2020年2月も市民を対象とした健康増進に関する講座を開講予定



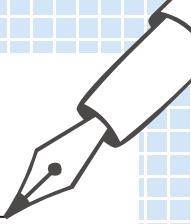
## 藍野大学

# 令和元年度「いきいき子育てサロン」を開催



藍野大学作業療法学科は茨木市太田地区福祉委員会と共に5月24日(金)、7月5日(金)に「いきいき子育てサロン」を開催しました。第1回目では、赤ちゃんの食事についての講座からスタートし、続いて中西英一准教授が「私が生まれるとき」をテーマに参加者からの質問や意見も交えて講演。会場となった作業療法実習室には作業療法学科の学生や近隣のボランティアが子どもの遊びスペースを設けるなど、保護者が安心して参加できる環境も整えられました。地域のネットワークづくりの場としての活用もめざし、今年度は全4回(各回無料、次回は9月27日(金))の開催予定です。

[担当教員] 作業療法学科:中西英一准教授 ほか



## 藍野大学短期大学部 青葉丘キャンパス

### 短期大学部 第二看護学科が今秋よりAO入試(高大接続型)を導入

藍野大学短期大学部 第二看護学科では、2020年度入試よりAO入試(高大接続型)を導入します。「看護に関する諸問題に強い関心を持ち、学ぶ意欲に溢れた方」を対象に、学ぶ三つの要素「知識・技能」「思考力・判断力・表現力等」「主体性・多様性・協働性」を多面的・総合的に評価します。エントリーシートの提出や模擬講義の受講、ディスカッションなど、それぞれの選考過程を通じて、受験する方の個性や看護への想い、高校生活での活動について十分にアピールできます。

なぜ看護師を目指すのか、どのような看護師になりたいのか。そのためにどう学ぶのかを模索し、自らについて伝えるために自主的に動き、考える本学のAO入試は、自分の将来と真剣に向き合い、自分への理解を深める機会であると考えています。それは、短大での3年間の学生生活を、より価値あるものにしてくれます。本学のアドミッションポリシーに共感し、AO入試初年度入学を目指す受験生に真摯に向き合い、一つ一つの選考過程において丁寧に選抜します。



オープンキャンパスでは各入試の概要と対策について説明します。

個別相談コーナーではAO入試エントリーシートを配布します。  
(7月・8月の日程のみ)



在学生もオープンキャンパススタッフとして活躍しています。

## 藍野大学短期大学部 茨木キャンパス

### 短期大学部 専攻科が「ATCエイジレスセンター」で課外研修



藍野大学短期大学部 専攻科は、4月17日(水)にATCエイジレスセンターで課外研修を実施しました。健康・福祉・介護に関する日本最大規模の常設展示場を訪れた学生たちは、最新の福祉機器や住宅設備、多彩な福祉用具や介護用品を見学。高齢者疑似体験や車椅子の試乗などを通じて、日常生活における障がい者や高齢者の困難の改善、介助における注意点について理解を深めました。

藍野大学学生寮

# 寮生のくらし

藍野大学短期大学部 茨木キャンパスの敷地内にある女子学生寮。藍野大学・藍野大学短期大学部に在籍する女子学生のためのこの寮は、セキュリティ体制が整い、寮母さんも常駐。万が一のけがや病気など緊急時も安心です。周辺環境も充実し、友達もできやすく、初めて一人暮らしをする方におすすめです。



藍野大学短期大学部 第一看護学科 1年生／長崎県立五島高等学校 卒業  
馬崎 さん

寮は学校敷地内で通学しやすく、自転車で5分ほど行けばスーパーや日用品の品揃えが豊富なお店もあって便利。最初は不安だと思いますが、とても優しい寮母さんもいて、周りの友達とも助け合えます。セキュリティ面も安心の環境で、勉強に集中できます!

藍野大学短期大学部 専攻科(地域看護学専攻)／和歌山県立高等看護学院 卒業  
菅原 さん

セキュリティがしっかりしていて、優しい寮母さんが見守ってくれる寮生活。門限があるおかげで規則正しい生活ができるのも良いです。友達がすぐにできて、楽しい毎日が過ごせます。マンションやアパートの一人暮らしよりコストを抑えられて、学校から近いのが最高です!



## ロビー

寮母さんが常駐しており、「行ってらっしゃい」「おかえり」と挨拶が飛び交うアットホームな雰囲気が魅力。



## 入退館システム

寮生の入退館をシステムで自動管理しています。寮生は、出入り時にICカードをリーダーにタッチします。



・寮費(月額): 48,000円(水道光熱費込)  
・共益費: 2,000円

## 共有スペース

1Fには、コミュニケーションスペースが。寮生達が集い、楽しく談話しています。



## ランドリールーム

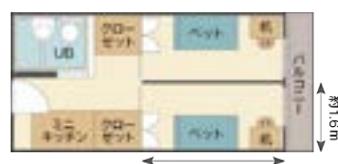
全自动洗濯機と乾燥機を設置しています。

## 防犯カメラ

出入口には防犯カメラが設置され、24時間監視体制が整っています。



## 2人部屋イメージ



・寮費(月額): 27,000円(水道光熱費込)  
・共益費: 2,000円

※場合によっては金額の変更あり



# 藍野高等学校 衛生看護科 メディカルサイエンスの特色

## 1 藍野大学・藍野大学短期大学部への進学をサポート



たくさんの卒業生が医療の世界で活躍している藍野大学・藍野大学短期大学部への進学をサポート。(各学科条件あり)

### 《藍野大学・藍野大学短期大学部へ進学するメリットは?》

★入学金(250,000円)が免除 ★成績優秀者には授業料減免制度も計画中(大学のみ)

1年	2年	3年	4年	5年	6年	7年
メディカルサイエンスコース 中学校卒業	藍野高等学校 衛生看護科 メディカルサイエンスコース[3年制]	藍野大学[4年制]※ 藍野大学短期大学部(第二看護学科)[3年制]※ 医療系大学[4年] 医療系短大・専門学校[3年]	看護師ほか医療職	医療看護師		

※内部推薦制度検討中

## 2 藍野高等学校と藍野大学・藍野大学短期大学部は 新時代の「高大連携」を実現

～教授陣による特別講義の開催など魅力ある試みを展開～

藍野高等学校と藍野大学・藍野大学短期大学部の教員が連携・協力し、医療専門職に就くためのキャリアアップに直結した教育プログラムを組んでいるのが大きな特徴のひとつ。高校の通常授業に加えて、教授陣による特別講義も開講します。

### 《特別講義のメリットは?》

教授陣による特別講義の内容はさまざま。看護学の知識はもちろん、リハビリテーション学や心理学、臨床工学などの専門的な医療職の講義を高校在学中に体験することで、興味のある医療職をじっくり見極めることができます。

### 藍野大学 新校舎 Medical・Learning・Commons(M・L・C)

2019年12月に竣工予定の藍野大学の新校舎M・L・C。グループ学習用の設備や、情報通信環境が充実したラーニング・コモンズ、大講義室など様々な教育設備が整います。個別自習室やグループ自習室は、藍野高等学校の生徒も利用できます。



# スコース



## 一人一人を大切に、心の豊かな医療人を育成

高校生から看護師を目指す本校の3年間は、医療の勉強や資格取得などのハードルを越える必要があり、生徒たちにとってその道は平坦な時ばかりではありません。のために、本校ではそれぞれの生徒の個性や状況に応じた、少人数だからできるきめ細やかな教育を行なっていることが大きな特徴です。勉学の他にも、学校生活や進路など、心理面での相談もしやすい環境を整え、将来の医療職に就いた時、医療技術だけでなく心の豊かな医療人になれるよう指導しています。

## 新コースでの学び

### 開校から注目してきた准看護師の資格がとれる藍野高等学校

藍野高等学校は2007年に衛生看護科の単一学科でスタートしました。准看護師の資格を取得するために必要な専門学科の教育課程がめずらしいなかで、藍野高等学校は大阪府で唯一、准看護師の資格がとれる高等学校として開校当時から注目を集めました。さらに卒業後もスムーズに看護師の職に就けるよう、看護師養成2年課程の学校へ進学できるサポート体制を整え、高校生から5年間で看護師をめざす最短コースの道を切り開いてきました。

### “もっと深く学びたい”意欲に応える キャリア教育の充実へ

高卒最短コースで看護師になる道を示してきた藍野高等学校ですが、一方で近年は4年制大学の医療系学科に進学して学びを深めたいという生徒に向けたキャリア教育も強化しています。その新たな取り組みのキーワードとなるのが、文部科学省が推進する高大接続改革をふまえた藍野大学・藍野大学短期大学部との「高大連携」です。例えば、藍野大学・藍野大学短期大学部の教員による特別授業。多様な視点・体験から自分に合った医療職を見つけ、将来の夢をかなえる一歩一歩を進むことによって、生徒の学習意欲の向上が期待できます。



### 社会で活躍できる医療専門職になるための学びを。 メディカルサイエンスコース誕生

文部科学省はキャリア教育の定義を「一人一人の社会的・職業的自立に向け、必要な基盤となる能力や態度を育てることを通して、キャリア発達を促す教育」としています。私たちは、個々の生徒の能力・意欲を理解しながら高等学校の3年間で医療人としての資質を育み、その後の高等教育において、効果的に専門的知識や技術を習得できる基盤を作ります。自ら考え社会に貢献できる医療専門職を育成するという、私たちにしか出来ない新しい人材育成のプログラムを作り上げていきます。新時代の医療職への道が「メディカルサイエンスコース」としていよいよ来年度、開設されます。

### 高大連携ミーティング

藍野高等学校は、藍野大学・藍野大学短期大学部と「高大連携に関する覚書」を締結し、定期的な協議会を開催。高大間の教育等に関する連携内容について策定し、個別の調整を進めています。



高大連携  
協議会にて

### Teacher's Message／教員からのメッセージ

#### 藍野大学の教員による特別講義

藍野高等学校「メディカルサイエンスコース」では、将来医療従事者になる事を前提に、解剖学・生理学・運動学などの基礎医学を藍野大学の専任教員より学ぶ事が出来ます。高校在学中に大学における教育・研究に触れる機会を提供するとともに、大学教員は、学生個々の能力や職業適性を磨き、10年後・15年後に医療従事者として働く自分を強くイメージできるように働きかけます。藍野高等学校で興味のあることに全力でチャレンジしてみませんか?そんな活力ある学生を待望します。



理学療法学科 熊田 仁 准教授

# 産学連携活動による地域貢献・人材育成

## サッカーチーム「スペランツァ大阪高槻」との連携活動に NSCA取得の学生たちと

### スペランツァ大阪高槻 × 理学療法学科 熊田准教授



Kumada Hitoshi  
理学療法学科 熊田 仁 准教授

認定理学療法士(運動器、学校教育)※  
大阪教育大学大学院教育学研究科実践学校教育専攻 修士課程 卒業  
1990年 大阪医科大学附属病院 リハビリテーション科に入職  
理学療法士として約20年にわたり、超急性期の臨床現場で術後リスク管理や運動療法を実施。特に肩関節の理学療法を専門として術後のプログラム立案のほか、野球検診にも積極的に取組む。同時に1997年より教育機関で理学療法士の育成に携わり、2008年に藍野大学入職。主な研究分野は教育学、運動器リハビリテーション学、理学療法学。  
大学では、健康増進に関する市民講座の開講や、複数の高等学校運動部へスポーツ検診に赴くなど、多岐にわたる地域貢献活動を展開。  
※高い専門性を有する理学療法士。日本理学療法士協会が認定。

(C)SPERANZA OSAKA TSUKUBI



スペランツァ大阪高槻に所属する選手の練習風景。  
なでしこリーグ2部昇格を目指す。  
(上・左)

### チーム強化に貢献。ハイレベルなスポーツの現場でOn the Job Trainingを

理学療法学科では、今年4月から地元の女子サッカーチーム「スペランツァ大阪高槻」と「スポーツ障害予防および技能強化に関する活動」をスタートしました。理学療法士が持つ解剖学、生理学、運動学、疾患に関する知識は、スポーツ障害の予防・改善に必要不可欠です。この専門的知識を用いて、サッカー特有のスポーツ障害を追究し、予防・改善に向けたトレーニングプログラムや研究につなげることで、チームの技能強化に貢献します。同学科の熊田先生はトレーナーとして練習現場に赴き、連日の試合で疲労が蓄積する選手のコンディショニングや、障害部のアフターケアを中心にサポートしています。理学療法士がスポーツ現場に携わるだけ大きなメリットは、術後の選手のケアが出来ること。術後どのくらいの時期から何をするか、どの程度のストレスをかけるかなど、医師や病院と連携をとりながらプランを立て、治療プログラムを実施することで、選手と共に一日も早い実践復帰を目指します。

理学療法学科では1年後期～2年前期にNSCA認定パーソナルトレーナーの資格取得のための講義・実習が組まれています。資格を取得した学生が、On the Job Training の場としてこの活動に参

加できるよう計画しています。熊田先生は「ハイレベルな女子サッカー選手の運動能力に直接触れ、トレーニングプログラムの立案を経験することができれば、学生にとって最良の教育になる」と展望を語ります。オフシーズンには、大学で、3次元動作解析装置や重心動描計、筋電図などを駆使した選手の身体機能評価を実施する予定。こうした活動に学生が参画することで、将来理学療法士としてスポーツ分野で活躍するための知見を深めることができます。トレーニングジムやスポーツチームなど理学療法士が活躍する領域が多様化するなか、本科は今後も、個々の学生が幅広い進路を目指すことができる教育プログラムを展開していきます。



治療風景。選手の訴えに耳を傾け、その原因を探究することで選手のサポートを。「ケアやヒアリングだけではなく、歩き方や動きを見ることでどこが悪いかを判断できます。これは理学療法士特有の動作分析ですね。」と熊田先生。

藍野大学では、民間企業や地域、スポーツチームと様々な連携活動に取り組んでいます。

実践的な現場教育を通じた教育プログラムの充実を図り、次代のニーズに応えられる医療人を養成しています。

## iMEPでの実践実習で磨く即戦力 医療現場で求められる臨床工学技士へ

ニプロ株式会社 × 臨床工学科 山崎准教授



### 生命維持管理装置

3年生以降の実習で使用する生命維持管理装置。「すべてが命に直結する医療機器に“怖さ”を持つことは大事。それでいて最先端の医療に触れたいという好奇心も忘れずにいてほしい。」と山崎先生。

### iMEP研修

臨床工学科での学びの集大成ともいえるiMEPでの手術実践実習。手術室や心臓カテーテル治療室、集中治療室などを備えた最新医療技術習得の場。学生はここで、医療機器から得られる情報の分析、判断、操作といった一連の技術を学ぶ。



Yamasaki Yasunori  
臨床工学科 山崎 康祥 准教授

国内でトップクラスの心臓手術件数を誇る国立循環器病センター（現：国立循環器病研究センター）で、人工心肺技術者として第一線で活躍し、手術症例の経験数は2000例を超える。大阪大学医学部附属病院高度救命救急センター臨床研究員、大阪府立病院機構大阪府立成人病センター循環器診療部門、人工心肺指導監督員を経て、2009年からは藍野大学で臨床工学技士の育成に携わる。現在は、一般社団法人 大阪府臨床工学技士会教育担当理事、日本臨床工学技士連盟理事・学修部長を兼任し、臨床工学技士の教育制度づくりや教育システム開発に従事している。

## 拡大し続ける臨床工学技士の職域。日進月歩の医療機器に対応できる力を

昨今における医療技術の目覚ましい進歩とともに医療機器も発展し、健康や生命において医療機器が果たす役割は非常に多くなりました。医師や看護師だけでは、高度化・複雑化する日進月歩の医療機器に対応しきれない現状を受け、本来的な業務を「医師の指示のもと、生命維持管理装置の操作や保守点検を行う」とする臨床工学技士の職域も、急速に拡大されつつあります。胃カメラや大腸ファイバーを用いた治療はその一例で、オペの補助のほかにも、既に一部の大学病院では麻酔維持中のバイタルチェック等で麻酔科医の補助にあたるなど、医療機器の操作というよりは医師のアシスタントに近い業務が増えてきています。工学分野の知識はもちろんのこと、血行動態や心電図の分析に長けた臨床工学技士の能力は、多様化する臨床現場で今後ますます必要とされます。

一方、養成校に求められるハードルも随分と高くなりました。これまで病院に就職後、OJTを通して仕事を覚えるのが通常でしたが、新人も臨床現場で即戦力となることが求められています。しかしながら、生命維持管理装置の操作やオペの補助など、生命に直結する業務には練習の場がありません。私自身が過去に臨床工学技士として心臓血管外科や

手術部にいた時代に「医療機器を使いこなせる臨床工学技士がもっといれば、救えた命があったのではないか…」と痛感した経験があります。したがって、極めて高度な技能を身に付けられる現場教育を提供し、社会で必要とされる臨床工学技士を養成したいという思いが強く、ニプロ株式会社の医療職向け専門的研修施設「iMEP」において本学の学生が実践的な学びを得られるよう、研修プログラムを考案しました。

藍野大学は2015年に、教育機関で初めてニプロ株式会社医療研修施設「iMEP」を使用し、毎年秋に手術実践実習を実施しています。オペながらの実習では、役割分担や工程組み、医療機器や手術器具の準備に半日をかけ、翌日の本番を迎えます。実習後、緊張からの解放と達成感で涙する学生もいます。この実習を通して見つけた自分の適性は、進路決定にも大いに役立ちます。

山崎先生は「臨床工学技士の仕事は、そのすべてが生命に直結する大変なものですが、その分、業務が滞りなく完遂したときの充実感や達成感は何事にも代えられない喜びとなります。臨床工学技士になるための勉強は大変だと思いますが、晴れて臨床現場に立つ日を夢見て頑張ってほしいと思います。」とエールを送ります。



# 教授に

## 聞くこ！

静穏期こそ災害に  
立ち向かうための準備期間。  
災害看護の道も「継続が力」になる。

阪神・淡路大震災が起きたのは、看護師となって病院の内科に勤務していた頃。西上教授は初めて被災地へ向かったものの、当時は避難所に聴診器や血圧計を持参することさえ思いつかなかった。支援を必要としている方々が目の前に大勢いるのに、有効に動けなかつた悔しい気持ちが残る中、大学院で選んだ研究テーマは「災害看護」。以来、災害時の支援のあり方について研究を続け、自然災害に見舞われた各地へ足を運んで被災地の状況を調査し、被災者の不安に耳を傾けてきた。その情熱は災害支援ナースの育成にも注がれている。

どんな災害であってもナースが避難所に入つてまずやるべきことがある。当たり前のように思われるが、第一に環境整備。ナイチンゲールは最初にシーツを洗つて部屋を掃除し、環境を整えることで兵隊の死亡率を下げたという。避難所は必死に避難してきた被災者がひしめき合っている状況なので、看護師が避難所に入る段階で環境に気を配る。それは普段どの看護師も病室で行つている「シーツを変えて掃除をする」習慣と同じだという。

また、地域の病院も日ごろから災害に備えておかなければならぬ。この課題に対しても、西上教授は病院勤務の看護師としての経験を活かしてきた。病院の中で24時間365日患者さんの側にいる看護師だからこそできる備えがあると考え、看護部門に重点を置いた病院の備え対策に取り組んでいる。



▲授業で行われたグループディスカッション。被災地に支援に向かうことを想定して必要な持ち物や心構えについて考えた。

2016年の熊本地震では▶  
日本災害看護学会が実施する先遣隊活動に参加。  
活動に入る前に現地のマップを確認しながら入念に行動計画を練る。



看護学研究科 研究科長／医療保健学部 看護学科

にしがみ

西上 あゆみ 教授

地方独立行政法人大阪府立病院機構 大阪急性期・総合医療センターで看護師として勤務後、大学看護学部で助手を務めながら大阪教育大学大学院教育学研究科修士課程修了。その後、兵庫県立大学大学院看護学研究科で博士号を取得。2016年 日本看護協会会长表彰

「災害は忘れる前にやってくる」—災害サイクルにおける静穏期こそ、準備期間という考え方を持ち、いつ起こるかわからない災害に立ち向かうための備えが大切。いざ災害が起り、避難所へ支援に向かう際や勤めている病院が被災したとき、訓練してきたことを行動に移し、被災地が避難所や仮設住宅から復旧・復興するまでの回復を促す。それは回復力を意味するレジリエンスという言葉に表される。

西上教授が考える「災害に強い」看護師とは?「当然のようですが、へこたれない気持ちと体力が土台。基礎看護からしっかり学び、現地で役立つ災害看護の知識に強くなつてください。支援に行く際や行った先で災害に遭うかもしれないことを想定し、自分で考える力も必要です。被災地の環境や食事管理にも知見をもつてアセスメントし、時々に最善の判断を考え続けられる看護師さんになってほしい」。そのためにはやはり「継続は力なり」。続けることが跳ね返す力、レジリエンスになる。



災害支援活動で  
被災地へ入る

実際に災害支援で使用する持ち物を見せながら、授業で解説する。



# “人”を育てる— 地域貢献活動

藍野大学では、医療分野における専門的知識を活かした様々な地域貢献活動に取り組んでいます。



Interviewed  
Teacher

作業療法学科 中西 英一 准教授

神戸大学大学院保健学修士、姫路北病院を経て2004年に本学に入職。作業療法理論・精神障害などのステイグマ(偏見)を主な研究テーマとし、地域作業療法学、精神障害ケアマネジメント論などの科目を担当。一般社団法人 大阪府作業療法士学会理事。第33回大阪府作業療法学会では学会長を務める。



令和元年度 第1回「いきいき子育てサロン」  
茨木市太田地区福祉委員会と共に開催。学生ボランティアが乳幼児をケアする。

—昨年の作業療法学会では「生きる意味」がテーマの鼎談がありましたね。  
生きる上でお互いに大事にしたいのは、“カイロス”、つまり自分の内側の時間がどのように流れるかです。生きる意味は、他者と共につくるものなんです。身近な例では、あるOTが、歩けない患者さんに趣味だった鮎釣りを教えてほしいと頼むと、見違えるように目標(鮎釣り)に向かって練習を始めたという話があります。そういう“心が立つ”瞬間は“してあげる”論理では引き出せない。引き出し方を模索できるのも、この仕事の面白さなんです。

—これからの社会で活躍るのはどのようなOTでしょうか?

地域包括ケアシステムの実現に向かう今、「私は身体障がいのOT」「私は高齢期のOT」といったような分断した考えではなく、患者さんの背景やご家族まで見据えた「人間として」という視点の支援、分野を超えたオールマイティさが求められつつあります。本来、OTが支援する“作業”は日々のこと。何をするときも、身体と心は同時に動くという自然のことに目を向けながら、カリキュラム以外にも豊かな経験を積んで素晴らしいOTになってほしいと思います。色々な人、様々な考え方のなかに飛び込んでこそ見つかる、新たな自分との出会いも楽しんでください。

作業療法学科 中西 英一 准教授

地域活動に参加しながら  
視野を広め、“慮る心”を養う

—中西先生が地域貢献活動に取り組むきっかけは何だったのでしょうか?

藍野大学が開学したころ、実習を控えた学生の教育のために、地域のご高齢の方に大学に来ていただきたいことがありました。その時、この地域でボランティアの力が必要とされていることや、医療の専門知識が地域の方々に喜ばれることに気づき、自分達が必要とされる場面があることを実感しました。以来、小学校のお祭りに参加したり、中学校で車椅子体験講座を開いたり、当初は地域で実施されていた子育てサロンも「専門の先生や学生ボランティアと一緒にやりましょう」と持ち掛けて大学で共催しています。最近では、オファーを受けて、高槻市富田地区で開催された音楽イベント『高槻ジャズストリート』のボランティアに学生と参加しました。

—OT(作業療法士)を目指すうえで、地域の方との関わりはどう生かされますか?  
OTとして社会に出ると、色々な年齢、様々な考え方を持った患者さんと接することになります。作業療法の知識をもって一生懸命に接していても「訓練のためだけに生きてるんじゃない。」と拒否されることもあるんです。必要なのは対話ですね。患者さんの想いや、大切にしていること。そういうことを慮る心は、人との関わりの中で養われます。多様な交流が持てる地域活動の中で、見知らぬ人の状況や気持ちを思い至る、広い視野を持てるようになってほしいと思います。



2018年12月 藍野大学で第33回大阪府作業療法学会が開かれた。学会長を務めた中西先生と、糸川宗先生、一般社団法人日本作業療法士協会 会長 中村春基氏との鼎談。OTジャーナルvol.53に掲載。

# 私が18歳だった頃

# MY SCHOOL DAYS

まずフィールドを愛せ、  
そして自分の内なる  
声を聞け。

思い返してみると大学時代に  
友人の誘いで参加した  
セツルメント活動が原点

18歳、僕らの時代の音楽は流行りの  
フォークソングでしたね。高校時代から野球  
部で、大学でも軟式野球の同好会に入ります。  
といっても野球の練習のかたわら、私が大学時代  
に足しげく通っていたのは文京区の氷川下と呼ばれ  
る地区。そこでセツルメント活動、今でいうボランティア活動  
に取り組んでいました。医学生による健康診断や法学部の学生に  
よる法律相談、それに保健師の活動の草分けとなる看護のセツル  
メントもあって、思えば今につながっているように感じます。私が活  
動していた氷川下セツルメントは印刷工場が多く、新刊の本が読  
めたり、働いている人と本を通じて話せたりするのも楽しみでした。

九州での32年間もすべてが  
つながっているように思える

保健学科に進学したのは、昭和30年のヒ素中毒事件から14年  
後に後遺症が報告されていたのを新聞で読み、関心を持つよう  
になり何冊か本を読む中で保健学科の先生方の存在を知ったからです。卒業後は教授のすすめで鹿児島へ行き、鹿児島大学歯学部の  
助手を務めながら公衆衛生の仕事も担当。ここでは歯科の保健計  
画で島へ行く機会を得ました。久留米大学では、人の挑戦を後押し  
して道をつけてくださる教育熱心な教授と出会い、教育者としての  
あり方を学ばせてもらいました。また、当時看護学科の設立初年度  
だったため、1期生と学科を作り上げていくことは面白い経験でした。再び鹿児島大学に戻り、その後携わっていくことになるべき地  
医療に出会いました。離島実習に関わるも、前例がないため周りの  
理解を得るのは大変でしたが、実際に行って学生が真剣に向  
き合えば島のお年寄りは思いやりをもって応えてくれるんです。ま  
ずは行って知ることが大事なんですよ。



東京大学時代は駒場寮に入寮。寮生はみなサークル活動に参加した。  
(後列左から2人目)

藍野大学 医療保健学部学部長 兼 看護学科学科長  
波多野 浩道 教授



地域の子どもたちと遊び、交流を図るセツルメント活動。

フィールドを愛すること  
人と交流する楽しさを合唱でも

その間、久留米大学最後の年に思い出になればと合唱団に入ったのは50歳手前でした。特に『筑後川』には思い入れがあり、この曲を流域で歌い継いでいく企画や作曲者の園伊玖磨が客死した地、中国・蘇州のコンサートにも参加しました。昨年は初演100周年を迎えた「なると第九」にも、鳴門のドイツ兵捕虜と地元の人々がつくりあげた歴史を感じながら参加しています。

フィールドワークがまさにそうですが、合唱も人と交流する楽しさがあります。思えば東大時代の修士研究も青森などのへき地をフィールドとしていました。調査に出て人と話し、生活を見るという意味ではセツルメント活動や合唱も含めて好きなことをやってこられたのだと感じます。物事すべからく「フィールドを愛せ」と言えます。割り振られた場所でも、また地域診断に訪れた地でも、まずその土地を好きになる。そこで初めて見えてくるものがあります。そして、内なる声を聞くこと。若い時はとくに、人の話を聞きすぎることも考えもの。自分の内なる声を大事にし、自分に正直でありつづけてください。

## PROFILE

東京大学大学院医学系研究科保健学専攻。1983年～鹿児島大学歯学部助手、久留米大学医学部看護学科教授を経て2000年～鹿児島大学医学部保健学科教授。日本ルーラルナーシング学会で理事を務め、島嶼の健康づくりなどを主な研究テーマに取り組む。2015年、本学医療保健学部 看護学科学科長に就任し、2018年より学部長兼看護学科学科長。



藍野大学

## 学生自治会主催の新入生歓迎パーティーを開催



アイノピア2Fアルバスホールにおいて、5月14日(火)、藍野大学学生自治会が主催する新入生歓迎パーティーが開催されました。立食形式の和やかな会には、今年もたくさんの学生が参加。他学科の学生とも交流を深める機会となりました。上級生による自治会、あいの祭実行委員会、サークル活動の紹介があり、これを機にキャンパスライフの新たな楽しみを見つけた新入生も。

＼私たちが取材しました！／

学生広報スタッフ 看護学科4年生 岡島、徳谷、山崎

### 自治会長にインタビュー

**Q1:** 新入生にどのような学生生活を送ってほしいですか？  
総合大学より学生数が少ない分、交流が盛んでコミュニケーションもとりやすいので、みんなで楽しい大学生活を送ってほしいです。

**Q2:** 自治会のよいところは何ですか？

オープンキャンパスのサポートなどを通して、保護者の方や高校生と話す機会も多く、自分の夢や意思を再認識することができます。また、他学科の学生や先輩との交流もでき、コミュニケーション能力をさらに身に付けることができますよ。



左から  
会計 看護学科2年  
神原さん  
副会長 臨床工学科2年  
香川さん  
会長 理学療法学科2年  
國富さん  
総務 作業療法学科2年  
吉田さん

藍野高等学校

## 衛生看護学科12期生の戴帽式を挙行



衛生看護科では5月25日(土)、藍野ホールにおいて戴帽式を挙行しました。戴帽式は、例年5月下旬から始まる臨地実習を前に、看護の道への自覚を促すための式典です。厳かな雰囲気の中、12期生となる2年生125名一人ひとりにナースキャップ(男子生徒はすずらんのコサージュ)が授与され、全員でナイチンゲール誓詞を宣誓しました。臨地実習は近隣にある医療法人恒昭会藍野病院で行われます。卒業生も数多く勤務している同院で、病気に関する知識や治療方法、ケアの方法を実践的に学び、医療現場で活躍するための第一歩を踏み出します。

# Circle Activities

# サークル紹介

藍野大学で活動する12のサークルに聞きました!

Q.1…未経験から始めた人もいますか?

Q.2…どんな活動をしていますか?

Q.3…サークルに入って良かったことは?



## Football

### サッカー

活動日…毎週水曜日 人数…30名

サッカー好きが集まるサークルで他学年とも交流も深めています。初心者と経験豊富な部員と一緒にゲームを楽しめるよう工夫しながら活動中。

A.1…初心者にはレベルを合わせてゲームを行うなど、それぞれの経験差を考慮して楽しく練習しています。

A.2…いつもはミニゲームの繰り返しがメイン。他のチームとの試合や、フットサル・サッカーの大会に出場することも。

A.3…学年を超えて仲良く会話しながら、のびのびサッカーを楽しめるところ。



## Basketball

### バスケットボール (Free Style)

活動日…毎週木曜日 人数…40名

未経験・経験を問わず、バスケットボールを楽しむことができるサークル。分からぬことがあります先輩や経験者が親切に教えてくれます。

A.1…未経験者もいます。経験者からボールを回したり、優しく教えたりしてゲームに参加しています。

A.2…集まったメンバーでチームを作って試合をしています。

A.3…他学科の学生と仲良くなれること。大学生活で相談したいことは先輩にすぐ聞けること。

## Volleyball



### バレーボール

活動日…第1・3・5木曜日 人数…約40名

未経験者でも気軽に始められるバレーボールサークル。経験に関わらず、部員のやる気をくんで他大学との交流試合なども行っています。

A.1…約8割が未経験者。経験者が見本となって教えています。

A.2…いつもは試合形式のゲームがメインの活動です。メンバー間の経験差を考慮してバランス良くチームに分かれて練習しています。

A.3…他学科・他学年と広く交流できるところ。大学生活が楽しくなりますよ!



## Dance

### ダンス (BJ beat)

活動日…毎週水曜日 人数…15名

楽しく、でも真剣に踊りの練習に励むダンスサークル。学内イベント「あいの祭」や新入生に向けたサークル紹介を発表の場として、その成果を披露しています。

A.1…ほとんどが未経験ですが、先輩が親切に教えてくれるので大丈夫。

A.2…ダンスジャンルに分かれて練習。学園祭に向けた全体練習も。

A.3…一緒に踊れる仲間がいること。楽しみながらも真剣に練習して迎えた発表の場で感じる一体感や達成感は、何にも代えがたいです!



## Training

### トレーニング (Pumpers)

活動日…平日 人数…117名

ムキムキをめざす男子から、シェイプアップを目的とした女子部員まで、たくさんの学生たちが日々トレーニングを行っています。

A.1…初心者で入ってくる学生は多いですが、先生や先輩が丁寧にトレーニング法を指導してくれるので安全に楽しめます。

A.2…基本は個人ですが複数人で行うことも。各々が自由にトレーニングに励んでいます。

A.3…先生との距離が近く、仲良くなれるところ。授業のときよりフラットに接して下さるし、深いお話を聞けます。



## Wheelchair Handball

### 車椅子ハンドボール (TOPS)

活動日…毎週木・金曜日 人数…32名

車椅子ハンドボールは障がいがある方と一緒にできるスポーツ。大阪体育大学で毎月開催される近畿リーグの他、5月の福知山大会、秋の全国大会などにも出場。今年の第9回福知山大会では優勝しMVPを獲得。

A.1…メンバー全員が初心者から始めています。

A.2…バス・シートの基礎練習やゲーム形式の応用練習に励み、月に一度の対外試合に向けて切磋琢磨しています。

A.3…障がいのある方と一緒にスポーツを楽しめる喜び。医療職をめざす者として、とても貴重な時間です。

# Soft Ball



## ソフトボール

活動日…毎週金曜日18時～ 人数…約50名

時に熱く、時に楽しく、和気あいあいのソフトボールサークル。部員数が多いので学年ごとにチームを作りオリジナルのユニフォームで大会に出場しています。

- A.1…未経験者もいますが、できるだけ経験差なく一緒に楽しめるように工夫しています。
- A.2…勉強優先のサークル活動なので、基本的には自由参加ですが、人数が揃えば試合を行っています。
- A.3…学科の違う友達ができたり、先輩方と縦のつながりをつくりたいできるところです。



# Futsal

## フットサル

活動日…毎週火曜日18時～ 人数…31名

フットサルサークルの活動は、勉強の息抜きにちょうどいい週1回。学校が長期休暇の際は外部の大会にも出場しています。

- A.1…未経験者もいます。まずは始めてみて上手いかない時にはアドバイスしています。
- A.2…軽いウォーミングアップのあと、試合形式でワクワク楽しく!年に数回、大会に出て自分のスキルアップを確認します。
- A.3…同じ趣味をもつ仲間と一緒に汗を流す時間はとても楽しいです!



# Table Tennis

## 卓球

活動日…日曜日(月2回程度) 人数…20名

地域の体育館で活動している卓球サークル。未経験で入っても楽しみながら身体を動かせるのが魅力。地域清掃活動では他のサークルとも交流しています。

- A.1…学年を問わず未経験者がほとんど。卓球経験のある先輩が親切に教えてくれるので楽しみながら習得できます。
- A.2…月に2回ほど茨木市民体育館を借りてラリーの練習や試合を行っています。
- A.3…楽しみながら運動できること。学年、学科の違う友達もできます。



# Ultimate

## アルティメット

活動日…毎週水曜日 人数…13名

初心者で入ったメンバーが多いアルティメットサークル。基本的なフリスビーの投げ方やルールなども経験者が教えてくれます。

- A.1…ほとんどが未経験者なので投げ方やルールは経験者が教えます。メンバー同士で大きな実力の差もなく楽しく活動しています。
- A.2…肩慣らしをしてから、5～8分程度のミニゲームを繰り返します。
- A.3…勉強漬けになりがちな毎日の運動不足解消になっています! 他学科・他学年との交流も深まります。



# Swimming

## 水泳

活動日…月1回 人数…15名

上級者が皆にアドバイスしたり、見本になったりと協力して活動中! 体を動かすだけでなく先輩から勉強のアドバイスをもらえることも。

- A.1…どの学年も全員が水泳経験者です。
- A.2…それぞれのレベルに分かれ、まずは長距離を泳ぐことを目標にしています。上級者は制限時間で決めて泳いでいます。
- A.3…他学年・他学科との交流。水泳や勉強に関するアドバイスなど会話を通して仲良くなり、友達が増えているのは楽しいですよ。



自慢の筋肉パートは上腕三頭筋♪  
腕が上がらなくなるまで  
追い込みます!

Pumpersは100人超えの大所帯。学内のトレーニング室でたくさんの学生が体を鍛えています。このサークルで友人と出会い、色々な考え方で触れることで、相手の立場で物事を考えられるようになりました。各サークルと一緒に地域清掃にも参加しています!

理学療法学科3年生  
トレーニングサークルPumpers  
部長 畠野 さん



守備はセカンドでバッティングが得意。  
遠くに飛ばす感覚がたまらない!

大会に出場するといつも試合は盛り上がり、飽きることがない楽しいサークルです。サークルの先輩後輩で勉強をすることもあるのは、いい習慣だと感じています。大切なと思うのは、授業とサークルの両立。夜は課題をする時間、朝は知識をつける時間、というように時間の使い方を工夫することで、集中力も上がっている気がします。

理学療法学科3年生  
ソフトボールサークル  
大江 さん

